

中国四国地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク 第4回勉強会（概要）

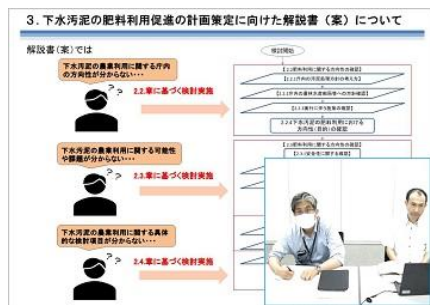
- 国内肥料資源の利用拡大に向け、中国四国地域の関係者で構成する中国四国地域国内肥料資源利用拡大ネットワークの取組の一環として勉強会を開催しました。令和6年度2回目の開催となる本勉強会では、『農業集落排水資源の肥料利用』をテーマに取組事例等を紹介しました。

勉強会の概要

○開催日：令和6年7月22日(月)
14:00～15:10

○方法：オンライン

○参加者：会員52名



○プログラム

農業集落排水施設からの汚泥の利用拡大に向けて
中国四国農政局 農村振興部 地域整備課

農村振興部地域整備課より、農業集落排水処理施設において排出処理の過程で発生する汚泥を有効活用し肥料原料として再利用する取組を紹介。

管内の活用事例：出雲市上下水道局 下水道管理課（島根県出雲市）

島根県出雲市の旧佐田町において、平成16年度に整備した資源循環施設の取組事例を紹介。

移動式汚泥脱水車や資源循環施設の老朽化や資材費高騰による施設の管理費の増加が課題となっているが、当該施設の汚泥を利用した「出雲佐田ゆうき」は年間35トン程度生産。汚泥の肥料化に試行錯誤した結果、もみ殻を混合することで、「いちご、はくさい、じゃがいもの出来が良い」「土が軟らかくなり良い土になった」などの高評価を得るようになった。毎年2月に発売するが、予約だけで完売している。



出雲市上下水道局キャラクター
みずちゃん

下水道事業におけるGXの取組
公益社団法人 日本下水道協会 技術部 技術課

日本下水道協会より、令和6年3月に国土交通省が公表した「下水汚泥肥料の肥料利用に関する検討手順書」を踏まえて同協会が6月に公開した「下水汚泥の肥料利用促進の計画策定に向けた解説書（案）」を説明。解説書は、下水道管理者が検討に着手する際に、事前に整理すべき情報と、その検討手順等について整理。

その他、協会主催のセミナーや肥料化施設見学会等の紹介があった。